

最近、社会システムのモデリングと意思決定問題に興味をもち研究を行なっています。このような問題の中でORの位置づけは、モデリングの一手段、評価の一手段として重要な役割を担っていると言えるのではないのでしょうか。にもかかわらず、現実の問題に対してORは役に立たないという声をよく耳にしますが、数学的にきれいに定式化されたORが、現実問題のもつ不確実さ、

不正確さに柔軟に対処できないことが大きな原因の1つになっているのではないかと思います。

Decision making の分野で展開されている Fuzzy theory をベースにした多様なアプローチが、役に立つORに対する1つの方向かも知れません。しかしながらそれ以上に、ORを利用する人が、現実問題とORとをいかに結合させるかというインタフェースに芸術的センスを養うことが重要ではないかと自分自身の反省から感じている次第です。このためには結局のところ、現実問題とORに精通することしかないのかも知れません。

会合記録

- () 内は出席者人数
- IAOR委員会 2月1日(月)(1)
- 編集委員会(OR誌) 2月3日(水)(11)
- 表彰委員会 2月4日(木)(4)
- モニター委員会 2月5日(金)(2)
- 文献賞小委員会 2月17日(水)(7)
- 研究普及委員会 2月26日(金)(13)
- 主査会議 2月26日(金)(13)
- 庶務幹事会 2月26日(金)(4)
- 25周年記念事業委員会

- 長期計画委員会 2月2日(火)(4)
- " 2月15日(月)(5)
- OR史委員会 2月15日(月)(2)

入退会

●57年度から入会 (正会員)

- 青山 貞一 (社)科学技術と経済の会
- 有賀 正弘 日本航空(株)
- 岡田 英明 協和醸酵工業(株)
- 岡田 修 小西六写真工業(株)
- 大浦 祐而 日本電信電話公社
- 亀山 喜正 岡山大学

- 河野 実 防衛庁
- 香西 泰 東京工業大学
- 田中 康信 清水建設(株)
- 千歳 壽一 東京都
- 殿岡 元治 日本技術貿易(株)
- 豊田 徹 日本電信電話公社
- 山崎 了三 いすゞ自動車(株)
- 張 享一 明知實業専門大学
- 高梨 敬子 (財)計量計画研究所
- 沢村 淑郎 日本アイ・ビー・エム(株)
- (学生会員)
- 橋本 克之 早稲田大学
- (賛助会員)
- (株)フジミック

編集後記▶桜前線も日一日と北上し、はや4月。新入社員、新入生が会社、学校に溢れ、フレッシュさに満ちています。毎年のことながら、明るいきもちにしてくれる4月です。年初以来、内外共に暗いニュースが続くなかで一時でも和やかな気分させてくれます。▶今月の特集は「商用データベース」。企業内データベースのみではなく、各記事に紹介されているような多くの商用データベースが動いています。この背景にはマイコン、ネットワークをはじめとするコンピュータ技術の驚くべき進歩があります。国際ネットワークを利用してアメリカのデ

ータベースを利用できる国際情報システムの時代です。また、人工知能分野の蓄積を活かしたソフトウェアの発達により人間の思考形態に近い知識ベースも実用化の一手手前までできています。ただ一言、難を言わせていただければ、利用コストが個人で利用できるほど十分安くないことです。編集子のような所得階層でも利用できる程度のコストになることを期待します。▶高岩氏の「テクノロジートランスファー奮戦記」は従来のOR誌にはない新形式のものです。ORの活用場の生々しさが伝わる興味ある読物です。(M)

オペレーションズ・リサーチ

昭和57年4月号 第27巻 (新シリーズ第7巻) 4号 通巻256号
 代表者 松田 武彦
 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 (電話 03-815-3351~2) 〒113
 編集人 小林 竜一
 発売所 株式会社 日科技連出版社
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)
 本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (583-2241) へ